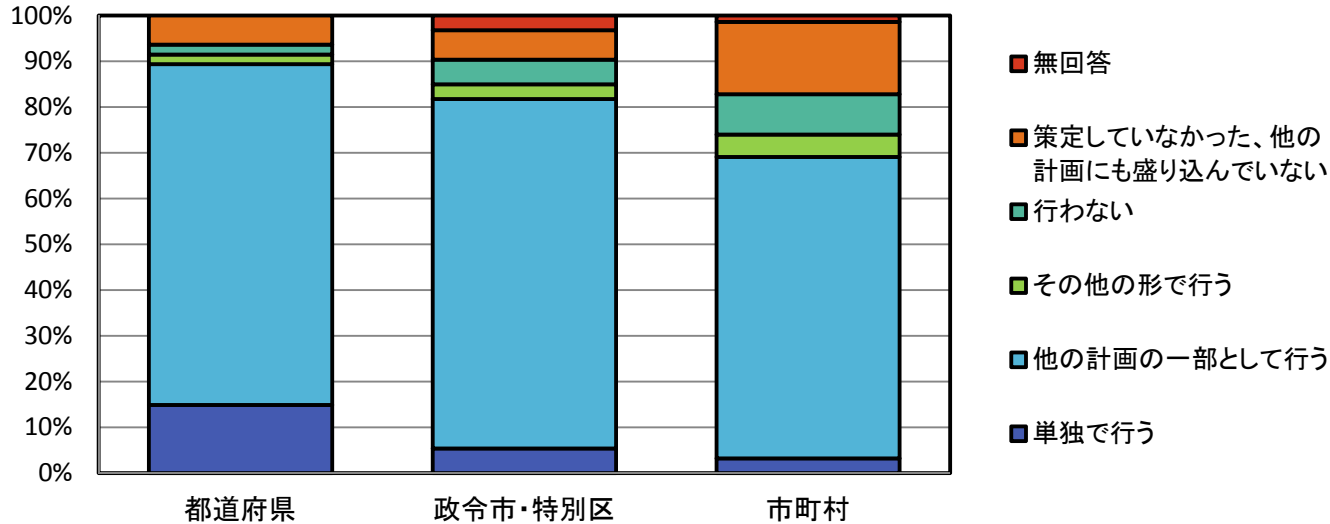


(図①)

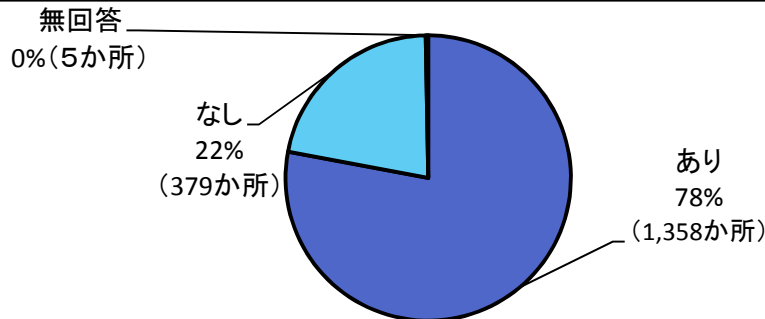
母子保健計画の策定状況等

➤ 「健やか親子21」の最終評価を行う予定の地方公共団体の割合

(平成25年度母子保健課調べ:「健やか親子21」の推進状況に関する実態調査票より)

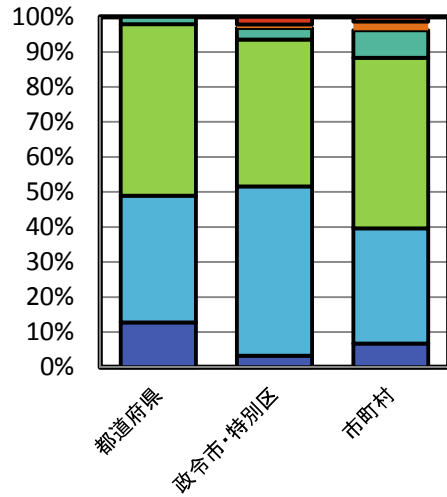


➤ 市区町村の母子保健計画策定の有無(他の計画に含まれる場合を含む)(平成24年度 母子保健課調べ)

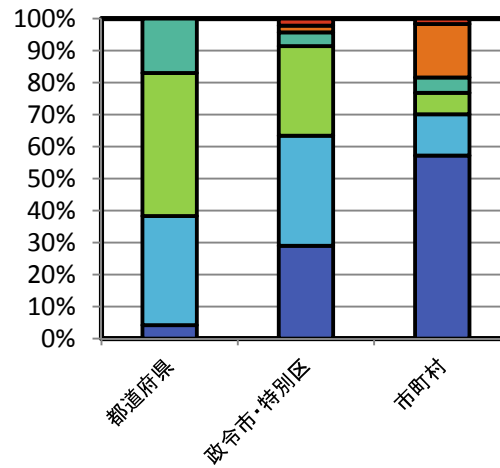


母子保健計画と関連する各計画の策定状況等

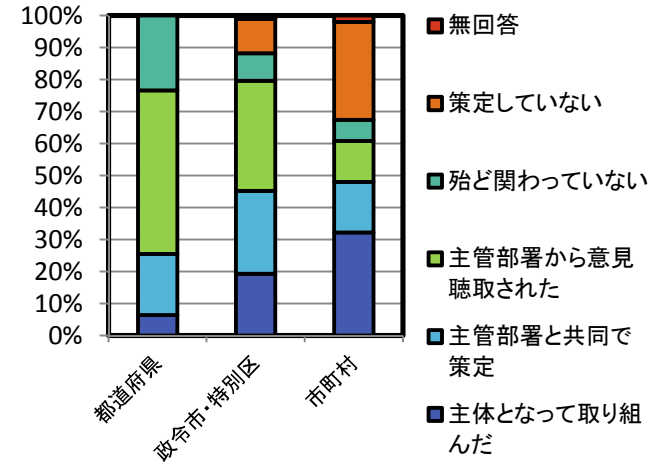
●次世代育成行動支援計画



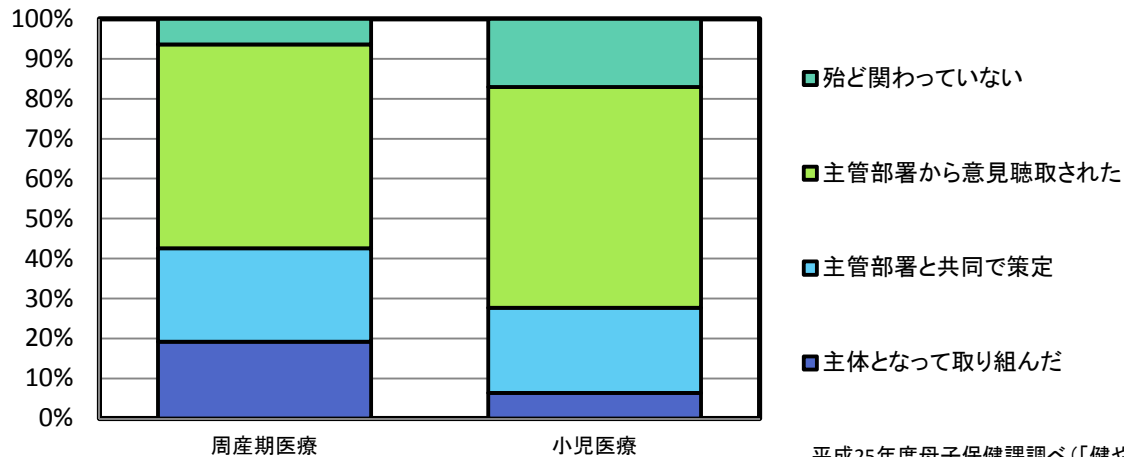
●健康増進計画



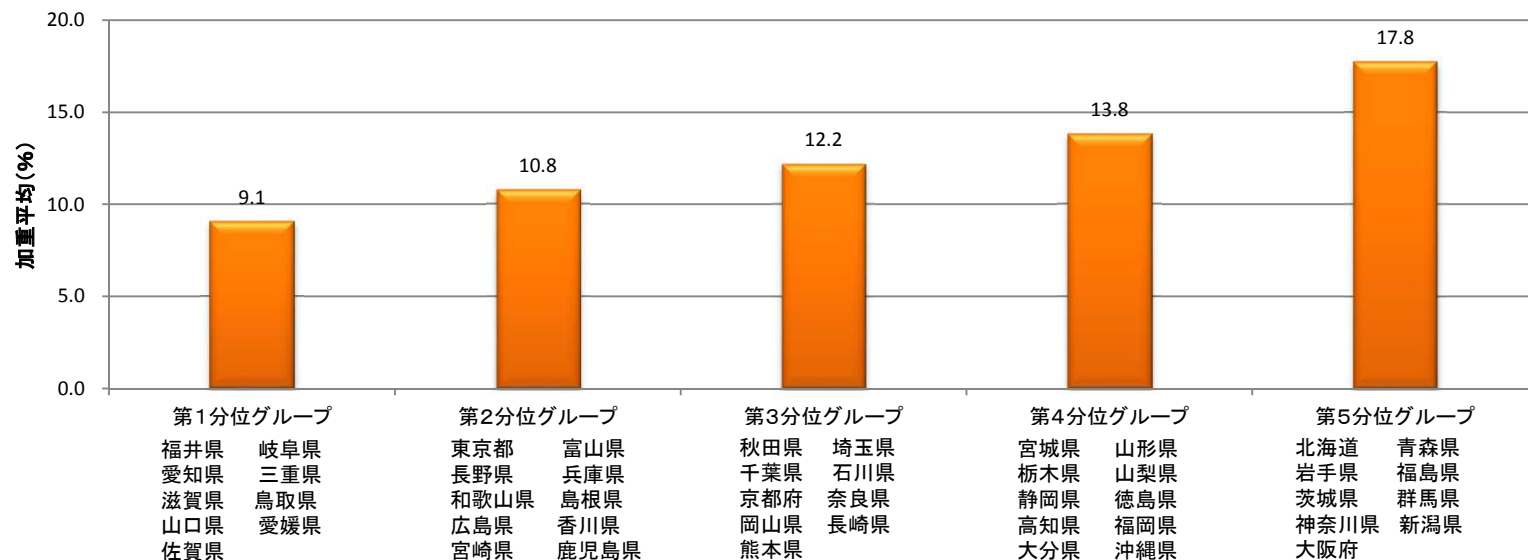
●食育推進計画



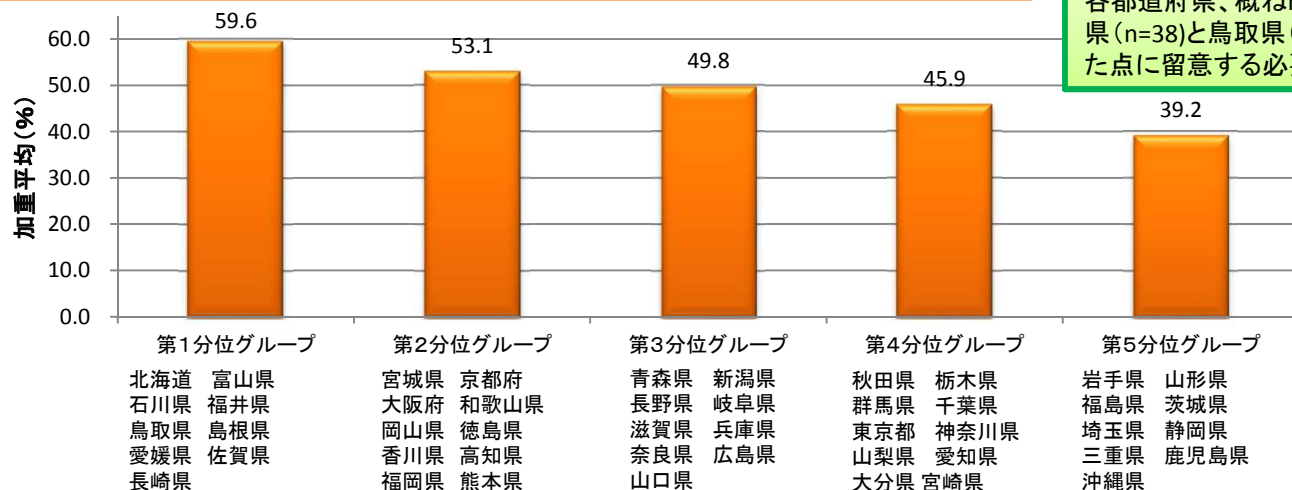
●都道府県医療計画



●妊娠判明時の母親の喫煙率(3・4か月健診)(5分位別・加重平均)



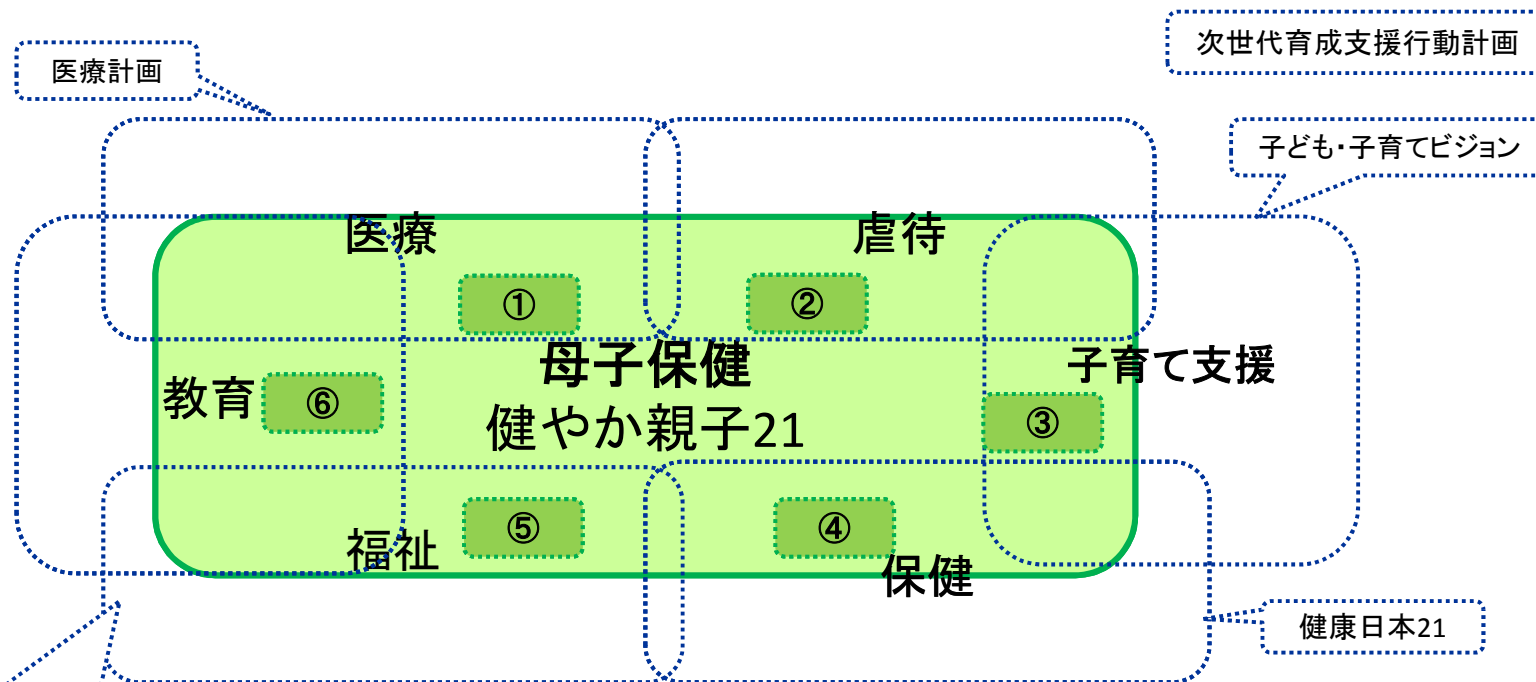
●生後1か月時、母乳を与えていた母親の割合(3・4か月児健診)(5分位別・加重平均)



全国363市町村(人口規模別に各都道府県10市区町村)の乳幼児健診を受診した児の保護者を対象とした。
各都道府県、概ねn=130~1060だったが、福井県(n=38)と鳥取県(n=24)は、回答者が少なかった点に留意する必要がある。

「母子保健」事業と関連する事業のイメージ図

- ◆「母子保健」を取り巻くその他の分野の概念が、複雑かつ密接に関わり、その境が分かりにくくなった。
- ◆関連施策や計画等が増えてきた。



(具体例)

- ①不妊に悩む方への特定治療支援事業、未熟児養育医療、小児慢性特定疾患治療研究事業、代謝異常児特殊ミルク供給事業、B型肝炎母子感染防止事業、HTLV-1母子感染対策事業等
- ②妊娠期からの相談体制等の整備と養育支援に係る連携体制の整備、子どもの心の診療ネットワーク事業等
- ③妊娠中の雇用、病児保育、ワークライフバランス等
- ④十代や妊娠期の喫煙・飲酒対策等
- ⑤小児慢性特定疾患治療研究事業、発達障害等
- ⑥保健教育、引きこもり、自殺対策、発達障害等

母子保健事業の推進のための情報の利活用の状況

各項目の調査実施市町村におけるDBへの入力および集計・分析状況

		1歳6か月 健診にお ける児の 身長・体重	1歳6か月 健診にお ける医師 の判定結 果	妊娠届出 時の状況 (喫煙状況 など)	育児期間 中の母の 喫煙状況	育児不安 に関して	虐待(親子 関係)に関 して	家庭にお ける 事故予防 対策に関 して
データベースへの 入力	回答数	1556	1548	1359	567	1500	1181	551
	入力している	708 (45.5%)	834 (53.9%)	684 (50.3%)	204 (36.0%)	542 (36.1%)	396 (33.5%)	174 (31.6%)
	入力していない	848 (54.5%)	714 (46.1%)	675 (49.7%)	363 (46.0%)	958 (63.9%)	785 (66.5%)	377 (68.4%)
データの集計・分析	回答数	1528	1529	1334	550	1398	1086	503
	コンピューターで集計・分析	481 (31.5%)	685 (44.8%)	493 (37.0%)	152 (27.6%)	358 (25.6%)	263 (24.2%)	119 (23.7%)
	手集計	408 (26.7%)	644 (42.1%)	468 (35.1%)	187 (34.0%)	521 (37.3%)	443 (40.8%)	194 (38.6%)
	集計・分析せず	639 (41.8%)	200 (13.1%)	373 (28.0%)	211 (38.4%)	519 (37.1%)	380 (35.0%)	190 (37.8%)

調査はしているものの
活用ができていないという実態

都道府県から提供された母子保健情報の活用は、4割強の活用にとどまっており、人口規模で異なる。

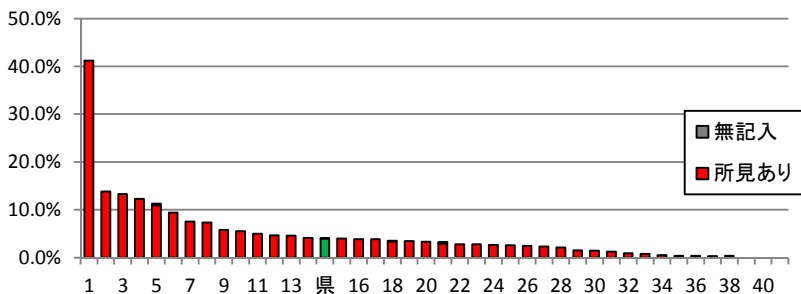
平成18年度厚生労働科学研究
「健やか親子21の推進のための情報システム構築および各種情報の利活用に関する研究(研究代表者:山縣然太郎)」より

<表20> 都道府県から提供されている、同一都道府県の他の市町村における母子保健統計情報を地域の母子保健活動に利用しているか？

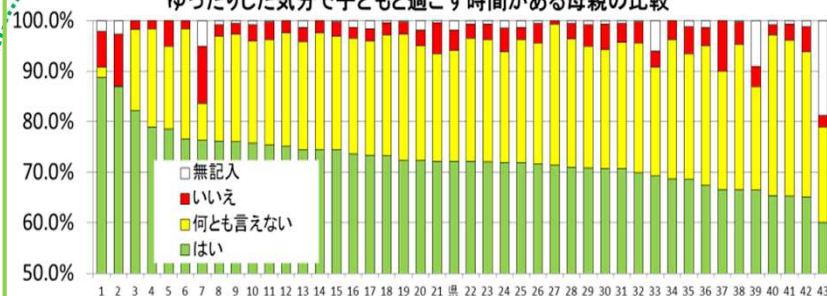
	人口規模				全体
	～7,900人	8,000～ 19,999人	20,000～ 99,999人	100,000人～	
回答数	257	311	557	226	1351
利活用している	82 (31.9%)	134 (43.1%)	251 (45.1%)	114 (50.4%)	581 (43.0%)
あまり利活用できていない	122 (47.5%)	118 (37.9%)	225 (40.4%)	61 (27.0%)	526 (38.9%)
どちらともいえない	53 (20.6%)	59 (19.0%)	81 (14.5%)	51 (22.6%)	244 (18.1%)

母子保健事業の推進のための情報の利活用の状況

顎定「所見あり」の頻度の愛知県内市町間比較(生後4か月前半)

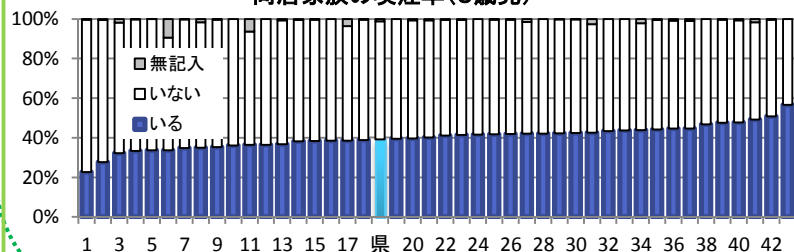


ゆったりとした気分で子どもと過ごす時間がある母親の比較



(愛知県内43市町比較(3歳児))

同居家族の喫煙率(3歳児)



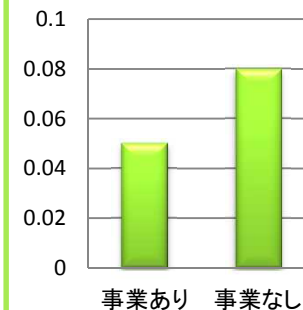
1歳6か月児健診前の歯科保健事業実施とう蝕罹患率等の比較

平成21年度の地域歯科保健業務状況報告のデータによると、1歳6か月児健診の前に、歯科保健事業を実施している市町村とそうでない市町村のう蝕の状況を比較したところ、う蝕の有病率、1人平均のう蝕数、う蝕保有者とも事業を実施している市町村で低く、う蝕の有病率では有意差を認めた(オッズ比1.41)。

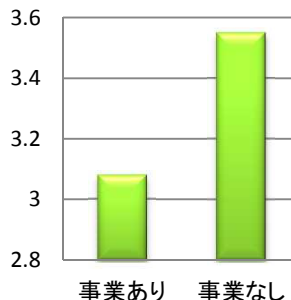
う蝕有病者率



1人平均う蝕数



う蝕保有者



愛知県母子健康診査マニュアル (平成23年3月)p.242-243より